

教科	外国語(英語)	科目	英語コミュニケーション I	履修学年	1年
単位数	3	科	全科	担当者	

教科・科目の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。</li> <li>4領域(読む、聞く、話す、書く)について情報や考えなどを理解することができ、適切に伝えることができる。</li> <li>言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。</li> </ol>
使用教科書・教材等	COMET English Communication I (104 数研 C1/717)
評価の観点とその方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>学習内容の定着の程度は、定期テストや小テストの得点から判断する。</li> <li>各提出物については原則として得点化し、テストの得点と合わせて評価する。</li> <li>主体的に取り組む態度については、以下の観点から判断する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な姿勢で授業に取り組んでいるか。</li> <li>課題内容を評価。</li> <li>積極的に話そうとしたり、聞こうとしたりしているか。</li> <li>日常及び長期休暇中の宿題等で、要求されていることを満たしているか。</li> </ul> </li> </ol>
学習方法・学習形態	<p>授業は週3時間で、英文を読み、内容と各テーマの背景の理解を深める。各単元で用いられている表現方法や文法を理解し演習する。単語力や、コミュニケーション能力の養成のため、小テストを行い、発音やスペリングの練習も行う。</p> <p>月に1～2回程度、FLTの先生とのチームティーチングを行い、コミュニケーション能力を高める。</p>
履修者へのメッセージ	<p>積極的かつ集中して授業に取り組み、できるだけ授業中に重要なところをマスターするように心掛けること。自分の英語の力を少しでも伸ばそうとする姿勢を持ち続けることが大切である。</p> <p>又、提出物については必ず期限を守って提出することを心掛けること。</p>

令和6年度学習進度予定表

	月	学習項目	学習内容	到達目標
一学期	4月	<b>Lesson 1</b> What Did You Do in Japan?	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外からの旅行者が日本での経験を投稿した旅行サイトの掲示板を読み、内容を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>be 動詞や一般動詞の過去形を用いて思い出に残っている経験を英語で述べる。</li> </ul>
	5月	<b>Lesson 2</b> When Do You Feel Happy?	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスメートに自分が熱中しているダンスについて話す内容を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進行形の形を用いてやりとりする。自分が好きなことや熱中していることについて発表する。</li> </ul>
		<b>中間考査</b> <b>Lesson 3</b> Onigiri Goes Overseas	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本のおにぎりの海外での人気についての学校新聞の記事を読み、異文化理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞を用いて日本文化を紹介することで、対話能力を身につける。</li> <li>助動詞の意味の違いを理解する。</li> </ul>
	6月	<b>Lesson 4</b> Pictograms	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京五輪をきっかけに世界でも一般的になったピクトグラムについてのスピーチを理解する。また、クイズを作ってピクトグラムを紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の意味の使い分けに慣れる</li> <li>ピストグラムについての知識を高め、聞いたり読んだりしたことを話し合うことができるようになる。</li> </ul>
	7月	<b>期末考査</b> <b>文法復習</b>		
夏季休業		1学期の学習を復習する課題		
二学期	9月	<b>Lesson 5</b> Morita Yuko Hospital Facility Dog Handler	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院で子どもたちのために働くファシリティードッグの日本人初のハンドラー、森田さんへのインタビューを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動名詞の使い分けに慣れる。</li> <li>動名詞を用いて自分が興味を持った職業について考えを発表できる力を身につける。</li> </ul>
	10月	<b>Lesson 6</b> Convenience Stores: Keys to Their Success	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニエンスストアの研究発表の英文を読み聞かす。</li> <li>自分の好きな店・よく行く店について、考えをまとめて紹介文を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I think that ~ の構文を使って自分の考えを言えるようにする。</li> <li>自分の紹介文を流暢に発表できる力を身につける。</li> </ul>
		<b>中間考査</b>		
	11月	<b>Lesson 7</b> High School Aquarium	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校で水族館を運営する水族館部の生徒へのインタビューを理解し、話し合い、自分たちの学校の紹介文を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、過去、現在完了を使い分けられるようになる。</li> <li>理想とする学校を目指すために、本校の魅力英語で意見交換し、発信できる力を身につける。</li> </ul>
12月	<b>Lesson 8</b> Smart Farming	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェブサイトの記事を読んで、スマート農業について知り、そのテクノロジーによって農業がどのように変わっていくかを考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>能動態と受け身の違いが理解できる。</li> <li>生活を快適にするテクノロジーについて英語で考えをまとめ、発表できる力を身につける。</li> </ul>	
冬季休業		2学期の学習を復習する課題		
三学期	1月	<b>Lesson 9</b> Food Waste	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品廃棄問題に関する学校新聞の記事を読み、考察する。食品廃棄を減らす取り組みについて英語で述べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較表現を使って自分の考えを発表できる力を身につける。</li> <li>比較表現の基本事項を身につける。</li> </ul>
	2月	<b>Lesson 10</b> William and His Windmill	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気もない貧しいアフリカの農村で、独学で発電のための風車を作った少年の実話を読み、彼が起こした奇跡について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係副詞を用いて、地域のために何ができるかを考え、発表する力を身につける。</li> <li>仮定法過去を使って、自分の考えなどを述べるができるようになる。</li> </ul>
		<b>Reading</b> Bailey The First Hospital Dog in Japan	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院にいる子どもたちを支え続けた日本初のファシリティードッグ、ベイリーの記事を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファシリティードッグの意義について理解し、英語で発表できる力を身につける。</li> </ul>
3月	<b>学年末考査</b> <b>文法復習</b>			
春季休業				

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	履修学年	2	年
単位数	2	科	全科	担当者		

教科・科目の 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。</li> <li>2. 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。</li> <li>3. 話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。</li> <li>4. 言語やその運用についての知識を身につけ、背景にある文化などを理解することができる。</li> </ol>
使用教科書 ・教材等	VISTA English Communication II (C II 709)
評価の観点 と その方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習内容の定着の程度は、定期テストや小テストの得点から判断する。</li> <li>2) 各提出物については原則として得点化し、テストの得点と合わせて評価する。</li> <li>3) 学習への姿勢については、以下の観点から判断する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極性をもって授業に取り組んでいるか。</li> <li>・日常及び長期休暇中の宿題等で、要求されていることを満たしているか。</li> </ul> </li> </ol>
学習方法・ 学習形態	授業は週2時間で、英文を読み、内容と各テーマの背景の理解を深める。各単元で用いられている表現方法や文法を理解し演習する。単語力や、コミュニケーション能力の養成のためや小テストを発音やスペリングの練習、グループワークなどを適宜おこなう。
履修者への メッセージ	積極的に、集中して授業に取り組み、できるだけ授業中に要点を習得できるように心掛けること。 自分の英語の力を少しでも伸ばそうとする姿勢を持ち続けることが大切である。 又、提出物については要件を満たすよう最大限努力した上で提出することを心掛けること。

令和6年度学習進度予定表

期	月	学習項目	学習内容	到達目標	
一学期	4月	Lesson 1 World Dance Performance	世界の各地の伝統文化の中からいくつか取り上げ、その由来やパフォーマンスに込められた思いを紹介する。  どの言語にも慣用句があるが、同じ意味を伝えていても使われる表現は言語によって異なっていることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• want など + (人) + to 不定詞を用いて人に何かを要求できるようになる。</li> <li>• 英語での手紙やメールなどの書き方を知る。</li> <li>• if~, when~等の名詞節を用いて自分がわからないことを相手に伝えることができる。</li> </ul>	
	5月	中間考査			
	6月	Lesson 2 A Piece of Cake			
	7月	期末考査			
夏季休業	1学期の学習を復習する課題				
二学期	9月	Lesson 3 Quoka	オーストラリア西部に生息するクオッカはどのような魅力を持ち、どのような門痔を問題を抱えているかを知る。  切手デザインの仕事とは何をするのか、またその魅力とはどのようなものかを知り、意見を交換する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SVOC の文型を用いて分詞を用いて自分の言いたいことを伝えることができる。</li> <li>• 形式主語、形式目的語を用いて、疑問や不明であることを伝えられるようになる。</li> </ul>	
	10月				中間考査
	11月				期末考査
	12月				Lesson 4 Designing Stamps
冬季休業	2学期の学習を復習する課題				
三学期	1月	学年末考査 文法復習	切手デザインの仕事とは何をするのか、またその魅力とはどのようなものかを知り、意見を交換する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 形式主語、形式目的語を用いて、疑問や不明であることを伝えられるようになる。</li> </ul>	
	2月				
	3月				
春季休業					

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	履修学年	3	年
単位数	2	科	全科	担当者		

教科・科目の 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。</li> <li>2. 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。</li> <li>3. 話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。</li> <li>4. 言語やその運用についての知識を身につけ、背景にある文化などを理解することができる。</li> </ol>
使用教科書 ・教材等	COMET English Communication II (C II 717)
評価の観点 と その方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習内容の定着の程度は、定期テストや小テストの得点から判断する。</li> <li>2) 各提出物については原則として得点化し、テストの得点と合わせて評価する。</li> <li>3) 学習への姿勢については、以下の観点から判断する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極性をもって授業に取り組んでいるか。</li> <li>・日常及び長期休暇中の宿題等で、要求されていることを満たしているか。</li> </ul> </li> </ol>
学習方法・ 学習形態	授業は週2時間で、英文を読み、内容と各テーマの背景の理解を深める。各単元で用いられている表現方法や文法を理解し演習する。単語力や、コミュニケーション能力の養成のためや小テストを発音やスペリングの練習、グループワークなどを適宜おこなう。
履修者への メッセージ	積極的に、集中して授業に取り組み、できるだけ授業中に要点を習得できるように心掛けること。 自分の英語の力を少しでも伸ばそうとする姿勢を持ち続けることが大切である。 又、提出物については要件を満たすよう最大限努力した上で提出することを心掛けること。

令和6年度学習進度予定表

期	月	学習項目	学習内容	到達目標
一学期	4月	Lesson 6 The High School Hair Salon	三重県のある高校には、美容室を運営する部活動があります。そこの部員達の活動内容や思いを聞きます。  バリ島で暮らす2人の姉妹がこの島が抱えている問題を知り、彼女たちが始めた活動について話し合う。  命令や強制ではなく、小さな工夫で人の行動に影響を与える「ナッジ」。その手法について発表しあう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞 +have + 過去分詞を用いて自分の気持ちを伝えることができるようになる。</li> <li>・自分の就きたい小苦行職業を英語で発表できるようになる。</li> <li>・過去完了形を用いて自分がわからないことを相手に伝えることができる。</li> <li>・関係代名詞の what を用いて学校の問題について詳しく説明することができる。</li> </ul>
		中間考査		
	5月	Lesson 7 You Can Make a Difference		
	6月	Lesson 8 Nudge		
	7月			
夏季休業		1学期の学習を復習する課題		
二学期	9月	Lesson 9 The Father of Braille Blocks	世界中で見られる点字ブロック。開発した日本人にはどんな物語があったのかを読み取り、意見を交換する。  日本人にとって当たり前のことでも、ほかの国の人たちには奇妙に映ります。留学生達の議論を読んで、自分の意見を発表しあう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係副詞の <b>where, when</b> を用いて、疑問や不明であることを伝えられるようになる。</li> <li>・使役動詞の <b>make, let</b> を使って話せるようになる。</li> </ul>
		中間考査		
	10月	Lesson 10 Do We Need That?		
	11月			
	12月			
冬季休業		2学期の学習を復習する課題		
三学期	1月	Lesson 11 The Vancouver Asahi	太平洋戦争以前のカナダで活躍した日系カナダ人の野球チームのバンクーバー朝日の選手達の物語を読んで、話し合う。	・知覚動詞を用いて、実際に見たり聞いたりしたことを津照られるようになる。
	2月	学年末考査		
	3月	文法復習		
春季休業				